

児童発達支援ガイドラインの自己評価の実施報告

施設名： あきやまケアルーム

対象者：事業者職員・保護者

調査機関：令和7年6月1日～令和7年6月30日

公表日：令和7年7月17日

公表方法：ホームページ及び掲示

報告日： 令和7年7月17日

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年 7 月 17日

施設名 あきやまケアルーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0		
	2	職員の配置数は適切である	71	14	配置数は守れているが、事務作業は工夫してこなしている現状がある。保育士による保育の時間が少ない。	PT・OTの勤務時間を増やして対応しているが今後も工夫努力する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	86	0	マニュアル作成やグループ会議に保育室施設長も参加し、振り返りが行われている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	71	14		現段階では毎年自己評価を施行中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0		
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	71	0	保育室や発達検査などを基準にしているが、標準化の定義が今ひとつわからない	都の様式などを参考に設定していきたい
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	86	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	86	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	71	0		現在ケアミーティングの不足をノートや保育日誌で補っているが、口頭での報連相も引き続き徹底する
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0	面談を年2回行い、修正を行なっている	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	86	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	71	14		連携を取ろうとする場合に、連携の承諾を保護者から取る必要がある場合があり注意を要する

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	86	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	71	14		連携を取るようにはしているが、全ての担当医療機関と連携が取れず、処方された薬の指示書など徹底を図る
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	71	14		就学時の相談支援員連携ができていないことがあり情報入手を詳細に行いたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	86	0	昨年度は学童保育へ2度同行し引き継ぎを行った	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	86	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	86	0	同施設の保育室での合同保育や地域の保育園での並行保育を行なっている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	71	0		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	86	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	71	14		支援プログラムはあるが、プリントでは徹底が不足し、送迎サービスでは受け渡しが保護者ではない場合があり、今後直接のお電話などでも通知していきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	86	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	86	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	86	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	86	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	86	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	57	14		地域住民を招待できるほどの独自の行事はないが、まちかどなどに参加している
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	86	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	86	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	86	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	86	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	86	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	86	0		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 あきやまケアルーム

保護者等数(児童数) 4

回収数 4

割合

100

%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4	0	0	0	OT.PT.音楽の活動も出来ている	
	2	職員の配置数や専門性は適切である	4	0	0	0	一人ひとりに寄り添ってもらえている	今後も維持したい
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	0	0	いつも清潔で様々な活動ができる	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4	0	0	0	個々に沿った支援がされている	よりニーズを踏まえた支援をめざしたい
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	0	0	コミュニケーションや身辺自立を支援してもらっている	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4	0	0	0	様々な活動が行われている	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	0	0	0	障害のない子との交流が活発だと感じる /合同保育をさせてもらっている	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4	0	0	0	利用開始日に説明があった	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4	0	0	0	計画書、療育記録でも細かく丁寧に作成されている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な支援の提供	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	3	0	0	1		プリントだけでなく口頭でのお伝えを徹底していく
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	0	0	0	送迎時に子供の様子が聞ける/連絡帳が丁寧	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	1	0	0	定期的に面談がある	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	3	0	0	1	保護者会はフレンドリーな雰囲気での交流ができた/ 保護者同志の連絡がなかなかできない	保護者さんの連携がしやすいような工夫をする
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	4	0	0	0	無理な相談にも対応してもらえた	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4	0	0	0	送迎時や連絡帳にて伝達されている	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4	0	0	0		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	0	0	1	緊急時を想定した訓練が実施されている/訓練に参加してみたい	訓練実施日にしっかりとお伝えし、日々のマニュアルも普段から把握して頂けるような工夫をさらに考えていきたい
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4	0	0	0	定期的に行われている	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4	0	0	0	いつも楽しく過ごしている	
	23	事業所の支援に満足している	4	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。